

2. マシンの設定

2. マシンの設定

1. 概要

HDE Controller をご利用いただく際に必要なマシン側の設定についてご説明します。

HDE Controller では、各種設定を行う際に必要な情報をマシンの設定情報から利用します。

バーチャルドメインの設定を行う前に以下の情報についてご確認ください。

・マシンの IP アドレスの確認

ネットワークカードがマシンに 2 枚インストールされている場合は、どちらかのカードが 1 枚のみインストールされている場合は、そのカード自身がグローバル IP で設定されることを推奨します。

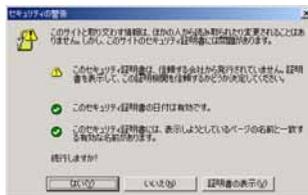
・ディスクパーティションの確認

これから設定する各バーチャルドメインに対してディスク容量制限を行う場合は/home を独立して設定しておく必要があります。また、/ や /usr に対しても HDE Controller が一時ファイルを作りますので配慮してください。

■ 管理画面へのアクセス

管理者が管理画面にアクセスするには、対応ブラウザにて以下の URL にアクセスします。

https://ホストの FQDN または IP アドレス]:16590/



セキュリティ警告画面が表示されますので、「はい」をクリックして続行します。



認証ダイアログには以下のように入力します。

| | |
|-------|-------------|
| ユーザー名 | root |
| パスワード | root のパスワード |

2. ネットワークの基本設定

基本的な設定は、OS インストール時に終了してしまっていますのでここでは、現在の設定について HDE Controller を利用して確認及び設定をおこないます。このガイドでは、バーチャルドメインの作成に重点をおいていますので、ルーティングの設定やポートフォワーディング設定につきましては、ユーザーマニュアルをご参照ください。

■ 一般設定

● 基本設定

マシンのホスト名、ドメイン名、ネームサーバーを設定することができます。



ネームサーバーの項目では、このマシン上に DNS サーバーを設定する場合は必ず、マシン自身をネームサーバー1に設定してください。例)127.0.0.1 等

● ネットワークカード設定

マシンのインストールされているネットワークカードが表示されます。

ネットワークカードの情報を確認したり、変更するには編集したいネットワークカードの「編集ボタン」をクリックします。

ネットワークカードの設定画面が表示されますので表示されている情報について編集することができます。



バーチャルドメイン設定後は、IP アドレスの変更をおこなわないでください。

2. マシンの設定

● ゲートウェイ設定

マシンがゲートウェイとする IP アドレスやゲートウェイへのマシン側のデバイスの情報を編集することができます。
IP 転送及び IP マスカレードは、ネットワークカードが 2 枚インストールされている場合に有効にすることが可能です。

● IP エイリアス設定

IP ベースのバーチャルドメインを設定する場合には、割り当てる IP アドレスをサーバーに対して IP エイリアスとして設定しておく必要があります。

IP エイリアスの追加をするには、IP エイリアスを追加したいネットワークカードを選択して「追加ボタン」をクリックしてください。



IP エイリアスに利用する IP アドレスは、グローバル IP アドレスを推奨します。

IPエイリアスの設定

ここではIPエイリアスの設定を行います。IPエイリアスは、一つのネットワークカードに、複数のIPアドレスを割り当てて利用します。
IPエイリアスで新たにIPアドレスを追加しない場合は、「IPエイリアスの追加」で追加したいネットワークカードを選択した後に「追加ボタン」をクリックしてください。
▲設定内容は、エディタの再起動後に有効になります。

| ネットワークカード | IPアドレス |
|-----------|--------|
|-----------|--------|

IPエイリアスの追加

IPエイリアスを設定したいネットワークカードを選択し、「追加」ボタンをクリックし、設定を継続してください。デバイス名は自動的に付与されます。

▼ + 追加

設定する

ネットワークカード設定画面になりますので、以下のように設定します。

ネットワークカード設定

ネットワークカード設定

ネットワークカード eth0.0 の設定を行います。
IPアドレス (例: 192.168.0.10) やネットマスク (例: 255.255.255.0) はこのコンピューターを識別するための重要な情報になります。
▲IPアドレスが他のコンピューターと重複してしまったら、ネットマスクが無くなって正常に通信ができませんので、慎重に設定してください。
入力項目がわからない場合は、ネットワーク管理員に確認してください。

起動時設定: [手動で設定]

IPアドレス取得: [手動で設定]

IPアドレス: []

ネットマスクアドレス: []

OK Cancel

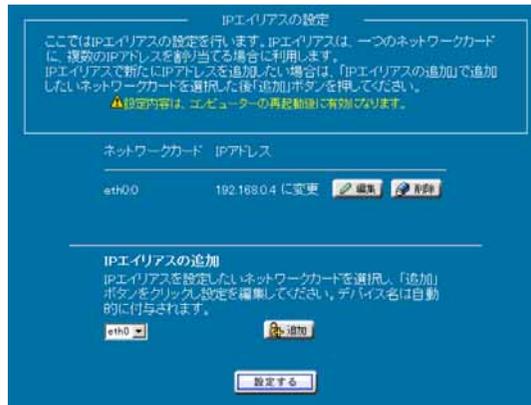
▲設定ファイルに変更を反映するには、エディタの再起動を選択し、次に表示されたページの下部にある「設定する」ボタンをクリックして下さい。

| | |
|------------|--------------------------|
| 起動時設定 | はい |
| IP アドレス取得 | 手動で設定 |
| IP アドレス | IP エイリアスに割り当てる IP アドレス |
| ネットマスクアドレス | IP エイリアスに割り当てるネットマスクアドレス |

設定を入力したら、「OK」ボタンをクリックします。

IP エイリアスの追加画面になりますので、「設定する」ボタンをクリックしてください。

設定が完了すると、設定をおこなったネットワークカードと IP アドレスが表示されます。



修正したい場合は、該当するネットワークカードの「編集」ボタンをクリックしてください。

2. マシンの設定

3. メールサーバーの設定

HDE Controller をインストールした直後の状態では、メールサーバーとしての設定が不足していますのでメールサーバーの設定をおこない、必要な情報を設定する必要があります。

ここでは、メールサーバーとして動作させるための設定についてご説明します。

■ 基本設定

● 基本設定

電子メールを受け付ける(受信する)ドメインを確認します。

このマシンのドメイン名が登録されています。

送信できるメールの最大長(サイズ)を設定します。

制限を行う場合は、「制限する」にチェックをいれてバイト数を入力します。

制限をおこなわない場合は、「制限しない」にチェックをいれておきます。(デフォルト)



メールでのバイト数は、エンコードされていますので実際のサイズより大きく(約 1.4 倍)なります。



バーチャルドメインのドメインは追加しないようにしてください。

「設定する」ボタンをクリックすると設定が完了します。

● 詳細設定

HDE Anti-Virus for GATEWAY や他のアンチウイルス等を利用する際に、SMTP や POP3 のポート番号を変更したい場合は詳細設定から設定を行うことができます。

SMTP のポート番号を変更するには、`qmail-smtpd` のポート番号を「待ち受けポート番号の変更」にチェックをして、変更後のポート番号を入力します。

POP3 のポート番号を変更するには、`qmail-popup` のポート番号を「待ち受けポート番号の変更」にチェックをして、変更後のポート番号を入力します。

「設定する」ボタンをクリックすると設定が完了します。



変更されたか確認するには、以下のようにコマンドを実行します。(9025 に変更した場合)

```
$ telnet localhost 9025
Trying 127.0.0.1...
Connected to localhost.localdomain.
Escape character is '^]'.
220 xxx.xxx.xxx ESMTP
quit
221 xxx.xxx.xxx
```

- ・ 220 xxx.xxx.xxx ESMTP の場合は、変更が有効になっています。
- ・ telnet: Unable to connect to remote host: Connection refused の場合は有効になっていませんので、もう一度設定してください。

■ アクセス制御

HDE Controller では、デフォルトで「POP before SMTP」「SMTP AUTH」が利用できますので、いずれかの方法により外部からのこのマシンを経由した送信がおこなえますが、アクセス制御を明示して設定することで、いずれかの方法を問わず送信することが可能になります。

■ SPAM 拒否設定

不正中継を許可しているホストからのメール受信を公開されている RBL サーバーを利用して受信を拒否することができます。

また、RBL サーバーに登録されていないサーバーからの迷惑メールを拒否するには特定のドメインから発信されている場合は、受信拒否リスト手動設定に@ドメイン名として入力することで受信を拒否することができます。

■ 宛先不明メール設定

サーバーが管理しているドメインに対して、存在しないユーザー宛に送信されたメールの処理方法を設定します。

2. マシンの設定

4. Web サーバーの設定

HDE Controller をインストール時に基本的な設定は完了していますので、ここで設定を行う必要はありません。
また、Web を公開する場合には極力バーチャルドメインを利用して公開をおこなってください。

各機能の詳細につきましては、ユーザーマニュアルをご参照ください。



バーチャルドメインのユーザーに対して CGI/SSI の許可をする場合は、リアルドメイン側で設定をおこないます。

■ バーチャルドメインのユーザーに CGI/SSI を許可するには

「ディレクトリ追加」では、以下のように許可させるディレクトリを追加します。

特定のドメインのユーザーのコンテンツディレクトリ(public_html)に、許可するにはディレクトリに、`/home/lcvirtualdomain/ドメイン名/users/*/public_html` を入力して CGI/SSI を許可にします。

ユーザーのコンテンツディレクトリ(public_html)以下に `cgi-bin` を配置する場合は特定の「ディレクトリに、`/home/lcvirtualdomain/ドメイン名/users/*/public_html/cgi-bin` を入力して CGI/SSI を許可にします。

全てのドメインのユーザーのコンテンツディレクトリ(public_html)に、許可するにはディレクトリに、`/home/lcvirtualdomain/*/users/*/public_html` を入力して CGI/SSI を許可にします。

■ suEXEC を利用するには

「基本設定」にある「suEXEC 設定」で設定をおこないます。プルダウンメニューから「有効にする」を選択して設定してください。



バーチャルドメインのユーザーが CGI/SSI を利用できなくなりますのでご注意ください。

■ .htaccess(分散設定ファイル制御/AllowOverride)を利用するには

「ディレクトリ管理」及び「ディレクトリ追加」で設定がおこなえます。

AllowOverride 指示子に指定する設定を画面より選択してください。

5. DNS サーバーの設定

既に、このマシンに与えられたホスト名が他のネームサーバーで管理されている場合はここで設定を行う必要はありません。
新規にドメインを立ち上げる場合は、この章にしたがって設定をおこなってください。



設定を行う前に、加入されているプロバイダー等よりネームサーバーの設定情報 (プレフィックスに指定する文字等)を入手しておいてください。

■ ドメイン追加

● ドメイン追加

ドメイン追加

新たなドメインを追加します。
この設定するドメインはIPアドレスが紐づけられ、このサーバーがドメイン管理権限を持つ。すなわち、他のドメインのDNSサーバーにより権限を委任されたドメインのデータを保持し、そのデータの読み合わせも行うようになります。

ネットワークアドレス選択 現在のシステムのネットワークアドレス 別IPアドレス指定
 その他

ネットワーク種別選択 LAN 専用線
「その他の専用線」を選択した場合は下記の逆引きプレフィックスを入力してください。
逆引きプレフィックス www.ocn-net.jp/ocn-net.jp

ドメイン名

管理者メールアドレス

セカンダリDNSサーバーのホスト名

セカンダリDNSサーバーのIPアドレス

逆引きゾーンを自動作成する

登録済みゾーン一覧

| ゾーン名 | ゾーン種別 |
|-------------------|----------|
| example.com | プライマリゾーン |
| www123.ocn-net.jp | プライマリゾーン |

キャンセル 進む

- ネットワークアドレス選択では、現在のシステムのネットワークアドレスを選択してください。
- ネットワークアドレス種別選択では、プルダウンメニューに事前に調査したタイプがある場合はそちらを選択します。
メニューにない場合は、「その他の専用線」を選択してプレフィックスを入力してください。
例では、OCN(フレッツ)を選択しています。
- ドメイン名では、リアルドメインとするドメイン名を入力してください。
- 管理者メールアドレスでは、このドメインの管理者となるメールアドレスを入力してください。
- セカンダリ DNS サーバーのホスト名と IP アドレスでは、事前に調査した際に指定されている場合は入力してください。
- 逆引きゾーンを自動作成するには、チェックをいれておきます。

「進む」ボタンをクリックして次にすすみます。

2. マシンの設定

● ホスト情報の追加

先にネームサーバーの情報を追加します。

- ・ ホスト種別では、DNS サーバーを選択します。
- ・ ホスト名では、このドメインをレジストラに登録した際に申請したホスト名を使用します。
- ・ 値では、このマシンの IP アドレスを入力します。

他のホスト名も登録したい場合は、同様にして追加をおこなってください。

追加が終了したら、「設定する」ボタンをクリックして設定します。

ここで追加をおこなわなかった場合でも「レコード管理」機能を利用して追加が可能です。

ネームサーバーが正しく設定されたか確認します。

このマシンのコンソール画面より、以下のようにして確認することができます。

```
ホスト名 -> IP アドレス (正引き)
$ host test.local.hde.co.jp <-入力
test.local.hde.co.jp has address 192.168.189.104 <-サーバーの応答
IP アドレス -> ホスト名 (逆引き)
$ host -t ptr 192.168.189.104 <- 入力
104.189.168.192.in-addr.arpa domain name pointer 192.168.189.104.xxx.xxx.xxx.xxx <-サーバーの応答
```



加入先のプロバイダー等の設定が済んでいない場合や、このマシンが外部と通信できない場合に逆引きが確認できないことがあります。

6. FTP サーバーの設定

このマシンの FTP サーバー全体に対する設定を行うことができます。

■ 基本設定

● Anonymous FTP の設定

このマシン上に存在しないユーザーをログインさせたい場合等に設定します。

不特定のログインを受け付けるようになりますので、通常は無効にしておくことをお勧めします。

● ポート設定

Passive モード利用時に、データ転送に利用されるポートを制限することができます。

ルーターやファイアウォール等で公開するポートを制限する場合に、ここで設定したポート番号が利用できます。